

教科	科目	単位数	開設年次	選択群	作成担当者
国語科	現代の国語	2単位	1年次		
教科書	現代の国語(数研出版)				
副教材等	大学入試現代文単語Vocabulary550(いいずな書店)、三訂版学習のポイントが見えるよむナビ現代文1基礎編(いいずな書房)				
① 科目の目標(学習指導要領)					
(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に着けるようにする。 (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会にかかわろうとする態度を養う。					

評価の観点		
①知識 技能	②思考力 表現力	③主体的に学習に取り組む態度
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。	A「話すこと・聞くこと」、B「書くこと」、C「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者とのかわりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	各検査等状況の80%以上	各検査等状況の30%以上	各検査等状況の30%未満
②思考力 表現力	各活動内容の80%以上	各活動内容の30%以上	各活動内容の30%未満
③主体的に学習に取り組む態度	提出物状況・授業への参加 80%以上	提出物状況・授業への参加 30%以上	提出物状況・授業への参加 30%未満

年間指導計画および各観点評価の規程

月	単元名	教材名	主な学習(指導)内容	実時	評価項目			評価のポイント(規準)
					①	②	③	
					A	B	C	
4	内容や構成、論理の展開を捉え、文章の要旨を把握しよう	社会と文化「水の東西」	・語句の意味、用法を的確に理解する。 ・作品の内容を読解しノートにまとめる。 ・本文の内容を的確に要約する。	4	○		○	・単元の学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・グループ学習を通して、設問に対して的確な解答を作成できている。(知識・技能) ・意見文や創作等の演習において、内容を理解し、自身の考えが効果的に伝わるように工夫されている。(思考力・表現力)
5	文章を読み、自分の意見や考えを論述しよう	意見を述べる「無痛化する社会のゆくえ」	・語句の意味、用法を的確に理解する。 ・筆者の定義づけや問題意識を中心に読解する。 ・文章構成に注意しつつ意見文を書く。 ・意見文を読み合い相互に評価する。	6	○		○	・単元の学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・設問に対して的確な解答を作成できている。(知識・技能) ・意見文や創作等の演習において、内容を理解し、自身の考えが効果的に伝わるように工夫されている。(思考力・表現力)
5 6	表記・表現のルールを理解し、読み手に分かりやすい文章を書く	実用文章「コミュニケーション」の手段を考える	・「非言語コミュニケーション」の内容を要約する。 ・表記や表現のルールを確認しながら意見文を書く。 ・発表と相互評価を行う。	10	○		○	・単元の学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・企画書やポスター等の制作において、内容を理解し、自身の考えが効果的に伝わるように工夫されている。(思考力・表現力)
7	文書やポスターで相手に必要な情報を的確に伝えよう	解釈を述べる「事実なのか考えなのか」	・目的に合わせて表現を工夫し、文書やポスターなど、伝わりやすい制作物の作成を目指す。 ・文章や論理的表現の型を学び、自己の表現に活用する。	6				・単元の学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・意見文や創作等の演習において、内容を理解し、自身の考えが効果的に伝わるように工夫されている。(思考力・表現力)
8 9	資料や機器を効果的に用いて、本を紹介するポップを作成しよう	本のポップ作成(本のポップ 過去の作品資料) 他	・ポップの作例を調べ、紹介する本を選定する。 ・見出しや照会文、イラストなどを交えポップを製作する。 ・完成したポップを展示し、相互鑑賞と評価を行う。	12	○		○	・文章やイラストの工夫など、作品制作への真摯な取り組みが見られる。(主体的に学習に取り組む態度) ・意見文や創作等の演習において、内容を理解し、自身の考えが効果的に伝わるように工夫されている。(思考力・表現力)
10	内容や構成、論理の展開を捉え、論理構成を図にまとめよう	ことばの働き「ものことば」	・語句の意味、用法を的確に理解する。 ・作品の内容を読解しノートにまとめる。 ・本文の内容を的確に要約する。	4	○		○	・単元の学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・設問に対して的確な解答を作成できている。(知識・技能) ・意見文や創作等の演習において、内容を理解し、自身の考えが効果的に伝わるように工夫されている。(思考力・表現力)
10 11	必要な情報を収集・整理して、わかりやすくポスターにまとめよう	ことばの働き「ものことば」	・筆者の問題意識に関わる事例を調べ、その背景にある言語ごとの特色を確認する。 ・調べた内容をわかりやすくポスターにまとめ、発表用の原稿を準備する。 ・準備した制作物をもとに発表と相互評価を行う。	6	○		○	・単元の学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・設問に対して的確な解答を作成できている。(知識・技能) ・意見文や創作等の演習において、内容を理解し、自身の考えが効果的に伝わるように工夫されている。(思考力・表現力)
11 12	自分の立場や相手に応じて話し方を工夫しよう	言語技術の実践「ディベート」討論(授業・部活で楽しむ即興型ディベート(日本語)) 他	・「コンセンサスゲーム」を体験し、話し合いのルールや意思決定の背景にある考え方を理解する。 ・ディベートの形式や流れ、各々の役割を理解する。	10		○		・話し合いのルールや留意点を理解して実践しようとするなど、授業への真摯な取り組みが見られる。(主体的に学習に取り組む態度) ・意見文や創作等の演習において、内容を理解し、自身の考えが効果的に伝わるように工夫されている。(思考力・表現力)
1 2 3	聞き取った内容を正しく要約し、論点に対応した反論を返答しよう	言語技術の実践「ディベート」討論(授業・部活で楽しむ即興型ディベート(日本語)) 他	・相手の発言を正確に理解し、要約する練習を行う。 ・要約した意見に対して適切な反論を構成し、発言する練習を行う。 ・テーマに対して高低側と否定側を入れ替ながら、要約と反論を一連の流れとして発言する練習を行う。 ・グループを解体し、振り返りと自己評価を行う。	10	○	○		・立論への積極的参加やディベートにおける役割の実行など、授業への真摯な取り組みが見られる。(主体的に学習に取り組む態度) ・意見文や創作等の演習において、内容を理解し、自身の考えが効果的に伝わるように工夫されている。(思考力・表現力)
6 10 1	本文と設問の関係を意識しながら読みを深めよう	(模試過去問・読むナビ)	・語句の意味、用法を的確に理解する。 ・文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえる。 ・本文に対して設問が何を求めているかを理解しつつ適切な解答を選んだり作成する。	2			○	・問題に対し、真摯な取り組みが見られる。(主体的に学習に取り組む態度) ・設問に対して的確な解答を作成できている。(知識・技能) ・意見文や創作等の演習において、内容を理解し、自身の考えが効果的に伝わるように工夫されている。(思考力・表現力)
							2	

教科	科目	単位数	開設年次	選択群	作成担当者
国語科	言語文化	2単位	1年次		
教科書	言語文化(数研出版)(言文707)				
副教材等	みるみる覚える古文単語300+30(いっすな書店)、新修古典文法二訂版(啓隆社)、漢文必携五訂版(桐原書店)、三訂版よむなび古典(いっすな書店)				
① 科目の目標(学習指導要領)					
国語の知識や技能を身につけ、言語文化に対する理解を深めるとともに、ものの見方や感じ方を深め、人生を豊かにする能力の向上を目指す。					

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
語句や表現技法の知識を増やし、文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して語感を磨き、語彙を豊かにする	A「書くこと」において、表現したいことを明確にし、効果的に伝わるように表現の仕方を工夫する。	語句や表現技法の知識を増やし、文化的背景について理解を深めようとし、文章の中で使うことを通して語感を磨き、語彙を豊かにしようとする。
時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。	B「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める。	時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深めようとし、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解を深めようとする。
		表現したいことを明確にし、効果的に伝わるように表現の仕方を工夫しようとする。
		作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めようとする。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようになっている。 確認テスト等 概ね85%程度	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けることができた。 確認テスト等概ね50%以上	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能が身に付かず、我が国の言語文化に対する理解も深まらなかった。 確認テスト等概ね40%以下
②思考力 表現力	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを上げたり深めたりすることができるようにしている。 確認テスト等概ね85%程度	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、考える力や共感したり想像したりする力を伸ばし、伝え合う力を高め、自分の思いや考えを表現できるようにしている。 確認テスト等概ね50%以上	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、考える力や共感したり想像したりする力を伸ばすことができず、自分の思いや考えをうまく表現することができなかった。確認テスト等概ね40%以下
③学びに向かう力	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを上げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで古典作品を読んだり、読書に親しんだりする等、言葉を効果的に使おうとしている。	言葉を通じて他者や社会に関わったり、言葉がもつ価値への認識をしようとしているとともに、読書や古典作品に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。	言葉を通じて他者に関わったり、思いや考えを上げようとしているが、言葉がもつ価値への認識を深めることはせずに、効果的に言葉を使おうと工夫する機会が少なかった。

年間指導計画および各観点評価の基準

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時	評価項目			評価のポイント(基準)	
				①	②			③
					A	B		
4・5 6 9・10 12・1	古文読解 「古文入門」 「宇治拾遺物語」 「徒然草」 「伊勢物語」 古文26	・語句の意味、用法を的確に理解する。 (知・技) ・作品の内容や解釈を踏まえ自身の考えをまとめる。(思・表)	26	○	○	○	・問題集やノート等、授業への真摯な取り組みが見られる。(学びに向かう力) ・設問に対して的確な解答を作成できている。(知識・技能) ・意見文や創作等の演習において、内容を理解し、自身の考えが効果的に伝わるように工夫されている。(思考力・表現力)	
					26			
4 8・9 10 12	近現代文読解 「問題演習①」 「確生門」古文との融合 「問題演習②」 「問題演習③」 「山月記」漢文との融合	・語句の意味、用法を的確に理解する。 (知・技) ・作品の内容や解釈を踏まえ自身の考えをまとめる。(思・表)	15	○	○	○	・問題集やノート等、授業への真摯な取り組みが見られる。(学びに向かう力) ・設問に対して的確な解答を作成できている。(知識・技能) ・意見文や創作等の演習において、内容を理解し、自身の考えが効果的に伝わるように工夫されている。(思考力・表現力)	
					15			
10・1 1 11 11 2・3	漢文読解 「漢文入門」 「故事成語・漁夫之利」 「故事成語・狐借虎威」 「漢詩」	・語句の意味、用法を的確に理解する。 (知・技) ・作品の内容や解釈を踏まえ自身の考えをまとめる。(思・表)	20	○	○	○	・問題集やノート等、授業への真摯な取り組みが見られる。(学びに向かう力) ・設問に対して的確な解答を作成できている。(知識・技能) ・意見文や創作等の演習において、内容を理解し、自身の考えが効果的に伝わるように工夫されている。(思考力・表現力)	
					20			
1・2	創作活動 「短歌・俳句」 近代5	・自身の伝えたい内容を効果的に表現する。(思・表)	5		○	○	・言葉遊びを楽しみ、作品を完成させる。(学びに向かう力) ・言葉の吟味を行い、創意工夫された作品を作成する。(思考力・表現力)	
					5			
6 10 12	模試過去問演習 古文1漢文1近代2	・語句の意味、用法を的確に理解する。 (知・技) ・文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえる。(思・表)	4	○	○	○	・問題に対し、真摯な取り組みが見られる。(学びに向かう力) ・設問に対して的確な解答を作成できている。(思考・表現)	
					4			

教科	科目	単位数	開設年次	選択群	作成担当者
国語科	論理国語	2単位	2年次		
教科書	論理国語(数研出版)				
副教材等					
① 科目の目標(学習指導要領)					
(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。					
(2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。					
(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。					

評価の観点		
①知識 技能	②思考力 表現力	③主体的に学習に取り組む態度
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。	「書くこと」(B)、「読むこと」(C)の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	各検査等状況の80%以上	各検査等状況の30%以上	各検査等状況の30%未満
②思考力 表現力	各活動内容の80%以上	各活動内容の30%以上	各活動内容の30%未満
③主体的に学習に取り組む態度	提出物状況・授業への参加 80%以上	提出物状況・授業への参加 30%以上	提出物状況・授業への参加 30%未満

年間指導計画および各観点評価の規準

月	単元名	教材名	主な学習(指導)内容	実時	評価項目			評価のポイント(規準)
					①	②	③	
4 5	学ぶということ 具体と抽象 考えの表出	学ぶということ 手の変幻 胆力について	・「人はなぜ学ばなければならないのか」という問いに対する筆者の考えを根拠として読み取る。 ・文章中の抽象的な表現の内容を踏まえ、筆者の「芸術」についての考え方に対する自分の考えを述べる。 ・逆説的な表現の内容を理解する。 ・筆者の逆説的言説を理解したうえで、異なる事例を考え、論理的に説明する。	11				検証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。
					○		○	言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。
							6	言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。
					○	○	○	文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めている。 「書くこと」において、立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫している。 「書くこと」において、多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重なり立て、主張を明確にしている。[A112] 課題テーマについて積極的に自分の考えを深め、文章内容を参考にしながら、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。
5 6	具体と抽象	「内的成長」社会へ 「具体」から「抽象」へ	・現代日本社会における「中間社会」の現状と課題を読み取る。 ・哲学的な意味を持つ語句について、その内容を理解する。 ・言葉の性質についての筆者の考えを読み取る。 ・筆者の主張を踏まえ、事物を抽象的にとらえることの利点がわかる具体的事例を日常生活の中から考える。	12	○	○	○	検証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 「読むこと」において、関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。 文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。
							6	言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 「読むこと」において、設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。 文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。
					○	○	○	言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 「読むこと」において、設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。 文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。
							6	言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 「読むこと」において、設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。 文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。
7 8	言葉と創造	国境を超える言葉 探究の扉－比べ読み－ ニュースとコミュニケーション	・言葉の性質についての筆者の考えを読み取る。 ・外国の言葉や表現を選び、それが表す概念とともに紹介する。 ・対談の文章を読み、それぞれの考えの共通点を読み取る。 ・「痛」という比喩に込められた意図について考える。	9	○	○	○	言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 「読むこと」において、設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。 文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。
						6		言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 「読むこと」において、設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。 文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。
					○	○	○	言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。
							4	主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点と異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。
9 10	近代と現代の視点	未来世代への責任 探究の扉－比べ読み－ 科学の現場 科学と生命	・環境問題について筆者の意見の論理をとらえる。 ・未来世代への責任」という題で自分の考えを書く。 ・「科学」について書かれた二つの文章の内容と表現の共通点と相違点を読み取る。 ・科学における「権威主義」について理解する。	10	○	○	○	主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。
						5		主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。
					○	○	○	主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。
						4	4	情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使っている。 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。
10 11	情報と社会	疑似群衆の時代	・文章の内容を踏まえ、メディアと群衆現象の関係を整理する。 ・「待機する群衆」が潜在させている力について、自分の考えを述べる。	8	○		○	情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使っている。 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。
							4	文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 「書くこと」において、個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の筋道を確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫している。 課題テーマについて積極的に自分の考えを深め、文章内容を参考にしながら、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。
					○	○	○	文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 「書くこと」において、個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の筋道を確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫している。 課題テーマについて積極的に自分の考えを深め、文章内容を参考にしながら、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。
						4	4	文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 「書くこと」において、個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の筋道を確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫している。 課題テーマについて積極的に自分の考えを深め、文章内容を参考にしながら、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。
11 12	言葉と思考	日本語は非論理的か	・筆者が言葉の使い方について「論理的」「非論理的」と表現する内容を理解する。 ・指定の段落構成に従い、筆者が提示する問題点を踏まえつつ、具体例や自分の意見を論述する。	8	○	○	○	文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 「書くこと」において、個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の筋道を確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫している。 課題テーマについて積極的に自分の考えを深め、文章内容を参考にしながら、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。
								文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 「書くこと」において、個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の筋道を確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫している。 課題テーマについて積極的に自分の考えを深め、文章内容を参考にしながら、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。
					○	○	○	文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 「書くこと」において、個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の筋道を確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫している。 課題テーマについて積極的に自分の考えを深め、文章内容を参考にしながら、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。
						4	4	文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 「書くこと」において、個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の筋道を確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫している。 課題テーマについて積極的に自分の考えを深め、文章内容を参考にしながら、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。
1 2 3	文章の背景	探究の扉－比べ読み－ 現代日本の開化 漱石が生きた時代	・夏目漱石の講演録と、漱石の時代について考察した文章を関連づけて読む。 ・時代背景が人間や作品に与える影響について考え、論述する。	12	○	○	○	主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 「書くこと」において、実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めている。 課題テーマについて積極的に自分の考えを深め、文章内容を参考にしながら、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。
								主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 「書くこと」において、実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めている。 課題テーマについて積極的に自分の考えを深め、文章内容を参考にしながら、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。
					○	○	○	主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 「書くこと」において、実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めている。 課題テーマについて積極的に自分の考えを深め、文章内容を参考にしながら、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。
						6	6	主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 「書くこと」において、実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めている。 課題テーマについて積極的に自分の考えを深め、文章内容を参考にしながら、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。

教科	科目	単位数	開設年次	選択群	作成担当者
国語科	古典探究	2単位	2年次		
教科書	高等学校 古典探究(数研出版 古探711)				
副教材等	古文単語300+30(いづな書店)、新修古典文法二訂版(京都書房)、漢文必携五訂版(桐原書店)				
① 科目の目標(学習指導要領)					
・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 ・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典を通して先人のものの見方、感じ方、考え方と関わる中で、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 ・言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。					

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
語句や表現技法の知識を増やし、文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して語感を磨き、語彙を豊かにする	「読むこと」において、作品の構成や展開を正しく捉え、内容を正確に理解する	語句や表現技法の知識を増やし、文化的背景について理解を深めようとし、文章の中で使うことを通して語感を磨き、語彙を豊かにしようとする。
時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。	「読むこと」において、作品についての考察をすることで、自身の考えを深める。	時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深めようとし、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解を深めようとする。
		作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めようとする。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	各検査等状況の80%以上	各検査等状況の30%以上	各検査等状況の30%未満
②思考力 表現力	各活動内容の80%以上	各活動内容の30%以上	各活動内容の30%未満
③学びに向かう力	提出物状況・授業への参加 80%以上	提出物状況・授業への参加 30%以上	提出物状況・授業への参加 30%未満

年間指導計画および各観点評価の規準

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時	評価項目			評価のポイント(規準)
				①	②	③	
4・5	古文読解1 『十訓抄』大江山	・語句の意味、用法、和歌の表現技巧等を的確に理解する。(①) ・主語を確認しながら読解し、内容を理解する。(②)	5	○	○	○	・設問に対して的確な解答を作成できている。(①) ・内容を正確に理解し、効果的に伝えるように表現できている。(②)
5・6	漢文読解1 「真履志度」 「華歌・王朗」 「画電点晴」	・語句の意味、句法を的確に理解する。(①) ・文章の主題や登場人物像を読み取り、内容を理解する。(②)	9	○	○	○	・問題集やノート等、授業への真摯な取り組みが見られる。 ・設問に対して的確な解答を作成できている。(①) ・内容を正確に理解し、効果的に伝えるように表現できている。(②)
6・7	古文読解2 「敬語入門」 「更級日記」「東路の道の果て」	・古文敬語の理解を深める。(①) ・語句の意味、用法を的確に理解する。(①) ・主語を確認しながら読解し、文脈に沿って心情を読み取る。(②)	11	○	○	○	・問題集やノート等、授業への真摯な取り組みが見られる。 ・設問に対して的確な解答を作成できている。(①) ・内容を正確に理解し、効果的に伝えるように表現できている。(②)
6・8	模試過去問演習・7月模試振り返り	・過去問演習を通し、自身の力を試すとともに、復習、既習内容の定着をはかる。(③)	4			○	・設問に対する的確な解答を作成しようとしている。(③)
8・9	漢文読解2 「漢詩」絶句・律詩 「史記」鴻門之会	・漢詩の理解を深める。(①) ・語句の意味、句法を的確に理解する。(①) ・歴史的背景を理解した上で本文内容を読解し、登場人物の心情を読み取る。(②)	16	○	○	○	・設問に対して的確な解答を作成できている。(①) ・内容を正確に理解し、効果的に伝えるように表現できている。(②) ・問題集やノート等、授業への真摯な取り組みが見られる。(③)
10・11・12	古文読解3 『方丈記』 「ゆく河の流れ」 「大鏡」 「南院の鏡射」	・語句の意味、用法を的確に理解する。(①) ・物語世界や人物像に対する理解を深め、登場人物の心情や作品の主題について考えを深める。(②)	16	○	○	○	・設問に対して的確な解答を作成できている。(①) ・内容を正確に理解し、効果的に伝えるように表現できている。(②) ・問題集やノート等、授業への真摯な取り組みが見られる。(③)
1・2	漢文読解3 「韓非子」 「倭官之書」	・語句の意味、句法を的確に理解する。(①) ・例話と主題の関係を読み取る。(②)	4	○	○	○	・設問に対して的確な解答を作成できている。(①) ・内容を正確に理解し、効果的に伝えるように表現できている。(②)
2・3	模試過去問演習・1月模試振り返り	・過去問演習を通し、自身の力を試すとともに、復習、既習内容の定着をはかる。(③)	5			○	・問題集やノート等、授業への真摯な取り組みが見られる。 ・設問に対する的確な解答を作成しようとしている。(③)

令和6年度 年間学習指導計画(シラバス)					北海道北見柏陽高等学校
教科	科目	単位数	開設年次	選択群	作成担当者
国語	探究国語	2単位	2	B群	
教科書					
副教材等					
① 科目の目標(学習指導要領)					
① 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。					
② 論理的、批判的に考える力、創造的に考える力、他者との関わりの中で伝え合う力をつけ、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。					
③ 言葉がもつ価値への認識を深め、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚し、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。					

評価の観点		
①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
言葉の働きを理解し、論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。	書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じ、自分の立場や論点を明確にしながら、主張を支える適切な根拠をそろえて、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫する。	課題等への取り組み態度 提出状況

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	学習内容を深く理解し、それらを活用しながら論理的に思考したり、主体的に課題に取り組むことができる	学習内容の基礎・基本となる点を理解し、教師等他者の指導のもと、課題に取り組むことができる	学習内容の基礎・基本となる点を十分理解できず、課題への取り組みも消極的である
②思考力 表現力	あらゆる活動を通して、他者を尊重し、自他の考えを調整し、互いに納得しうる結論に向けた行動をとることができる	他者の主張を理解し、自分の主張と合致できる点を調整し、教師等他者の協力をえながら、結論を導くための行動をとることができる	協力的な言動により周囲と共に活動することはできるが、他者の発言を理解したり、価値観を尊重しながら協力することが難しい
③学びに向かう力	あらゆる場面で、自らを律し、言動を正すことの意味を自覚し、主体的かつ計画的に物事を考え、臨機応変に行動することができる	自分の価値観を基準としながらも、異なる価値観や考え方があることを理解し、共感できる面を探ることができる	他に迷惑が及ぶ事柄に対して、自らの言動を正すことはできるが、目標達成に向け、主体的に考え、行動することができない

年間指導計画および各観点評価の規準							
月	単元名	主な学習(指導)内容	学期	評価項目			評価のポイント(規準)
				①	②	③	
通年	問題集演習	・文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえる。 ・語句の意味、用法を的確に理解する。 ・古文や漢文読解に必要な知識を獲得する。	32	○	○	○	問題集や要約ノートに真摯に取り組んでいる。【学びに向かう力】 設問に対して適確に解答を作成できる。【知識 技能】 意見文や創作等の演習において、内容を理解し、完成や発表にむけて努力している。【思考力 表現力】
	現代文 「詩・ことば・人間」 「食卓のエッセイ」 「本の読み方」 美文字トレーニング	・文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえる。 ・語句の意味、用法を的確に理解する。	12	○	○	○	問題集や要約ノートに真摯に取り組んでいる。【学びに向かう力】 設問に対して適確に解答を作成できる。【知識 技能】 意見文や創作等の演習において、内容を理解し、完成や発表にむけて努力している。【思考力 表現力】
4	古典 「古文入門①②」 「宇治拾遺物語」 「古今著聞集」 漢字・語彙	・古文や漢文読解に必要な知識を獲得する。	3			○	
5	現代文 「雨傘」 「ことばと文化」 「人間関係」 新聞記事	・文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえる。 ・語句の意味、用法を的確に理解する。	3			○	
6	古典 「落葉物語」 「徒然草」 「十訓抄」 美文字トレーニング	・古文や漢文読解に必要な知識を獲得する。	3		○	○	
7	現代文 「その日」 「動物の言い分」 「人間の言い分」 古典「古本説話集」	・古文や漢文読解に必要な知識を獲得する。	3		○	○	
8 9	古典 「沙石集」「発心集」 現代文 「混沌からの表現」 漢字コンテスト応募	・古文や漢文読解に必要な知識を獲得する。	4		○	○	
10 11	古典 「沙石集」「発心集」 現代文 「混沌からの表現」 おーいお茶応募	・古文や漢文読解に必要な知識を獲得する。	5		○	○	
12 1	現代文 「一瞬の風になれ」 「科学者と芸術家」	・古文や漢文読解に必要な知識を獲得する。	5		○	○	
2 3							

教科	科目	単位数	開設年次	選択群	作成担当者
国語科	論理国語	2単位	3年次		
教科書	精選 論理国語(数研出版 論国707)				
副教材等					
① 科目の目標(学習指導要領)					
・実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。 ・論理的、批判的に考える力を伸ばすと共に、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり、深めたりすることができるようにする。 ・言葉が持つ価値への認識を深めると共に、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。					

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにしている。	「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばそうとしている。また、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしている。また、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	各検査等状況の80%以上	各検査等状況の30%以上	各検査等状況の30%未満
②思考力 表現力	各活動内容の80%以上	各活動内容の30%以上	各活動内容の30%未満
③学びに向かう力	提出物状況・授業への参加 80%以上	提出物状況・授業への参加 30%以上	提出物状況・授業への参加 30%未満

年間指導計画および各観点評価の規準

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時	評価項目			評価のポイント(規準)
				①	②	③	
4	未来世代への責任	・スミスの引用部分に即して、資本主義社会の基本的な構造を理解する。 ・環境問題が「未来世代」に影響を与える例について考察する。	5	○	○	○	・資本主義社会の基本的構造が理解できたか。 ・「未来世代」の問題を解決するためには、「倫理」が必要だということが理解できたか。
5	日本語は非論理的か	・日本語が非論理的な構造を持つことを理解する。 ・論理的な日本語表現とはどういうものか理解する。	8	○	○	○	・日本人のコミュニケーションの技術から「非論理的」な表現が生まれることを理解できたか。 ・「読めない相手」に対しての論理的な表現とはどういうものか考察できたか。
6	超えて行く翻訳	・筆者が翻訳を読んで感じとったものを考察できたか。 ・翻訳によって原文の玄妙な味わいを失わないためには、どのようなことに留意すべきかを読み取る。	7	○	○	○	・筆者が翻訳をどのようなものであると考えているのかを読み取れたか。 ・言語の違いからくる、原文と訳文の世界観の違いを実感できたか。
7・8	メディアのテロル	・マス・メディアが起こす時間感覚の変容を読み取る。 ・「経験の交換」を意識して、それらのメディアをうまく活用するにはどのようにすれば良いのかを考察する。	8	○	○	○	・「テレビ」とはどのようなメディアであるかをマクルーハンの言葉から理解できたか。 ・メディアに買われている現在の状況をあらためて把握し、問題を自分のこととして考えられたか。
9	エコロジーのミューズを求めて	・本文全体から現代の「エコロジー」を巡る問題点を確認する。 ・筆者の主張する「生態学的叡智」には、「言葉(詩)」が必要であるということを理解する。	7	○	○	○	・現在のエコロジーを取り巻く問題点を理解できたか。 ・「言葉(詩)」こそが、自然と人間をつなぎ、真の「生態学的叡智」へと導くものであるということを理解できたか。
10	顔の所有	・「顔は誰のものか？」という常識から外れた問いから生まれる様々な問題について理解する。 ・「顔を所有すること」が逆に「顔に所有されること」になることを理解する。	8	○	○	○	・「顔を所有する」とした場合の論理的帰結の第一について理解できたか。 ・「顔を所有する」とした場合の論理的帰結の第二について理解できたか。
11	無常ということ	・筆者が言う「無常」と「常なるもの」について、本文全体の内容を踏まえて整理する。 ・筆者の考える「歴史」と自分の考える「歴史」とを比較しながら、筆者の主張に対する自分の意見をまとめる。	8	○	○	○	・自分を動かした美しさがどこへ消えたのかを考察する筆者の思考の過程を読み取れたか。 ・筆者の言う「無常」と「常なるもの」について考えを深められたか。
12・1	本歌取り	・本文の構成において、後成の評の引用がもつ役割について考える。 ・定家の「本歌取り」理論について理解し、なぜそのような理論が必要であったか考える。	9	○	○	○	・「本歌取り」によって、表現が重層化することを理解したか。 ・本文中の具体例を論と結びつけて読む力と、文体から筆者の意図を考える力を身につけたか。

令和6年度 年間学習指導計画(シラバス)					北海道北見柏陽高等学校
教科	科目	単位数	開設年次	選択群	作成担当者
国語科	古典探究	2単位	3年次		
教科書	高等学校 古典探究(数研出版 古探711)				
副教材等	古文単語315三訂版(桐原書店)、新修古典文法二訂版(京都書房)、漢文必携五訂版(桐原書店)				
① 科目の目標(学習指導要領)					
・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 ・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典を通して先人のものの見方、感じ方、考え方と関わる中で、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 ・言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。					

評価の観点		
①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
語句や表現技法の知識を増やし、文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して語感を磨き、語彙を豊かにする。	「読むこと」において、作品の構成や展開を正しく捉え、内容を正確に理解する	語句や表現技法の知識を増やし、文化的背景について理解を深めようとし、文章の中で使うことを通して語感を磨き、語彙を豊かにしようとする。
時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解を深めようとする。	「読むこと」において、作品についての考察をすることとで、自身の考えを深める。	時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深めようとし、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解を深めようとする。
		作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めようとする。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	各検査等状況の80%以上	各検査等状況の30%以上	各検査等状況の30%未満
②思考力 表現力	各活動内容の80%以上	各活動内容の30%以上	各活動内容の30%未満
③学びに向かう力	提出物状況・授業への参加 80%以上	提出物状況・授業への参加 30%以上	提出物状況・授業への参加 30%未満

年間指導計画および各観点評価の規準							
月	単元名	主な学習(指導)内容	実時	評価項目			評価のポイント(規準)
				①	②	③	
4	伊勢物語 初冠	・和歌の発想、表現に慣れる。 ・「男」の振る舞いを整理し、その人物像を考える。	5	○	○	○	・二首の和歌について解釈、鑑賞ができたか。 ・『伊勢物語』の後世の「物語文学」への影響について理解できたか。
5	四面楚歌	・秦末から漢・楚の興亡にかけての歴史的な背景を理解する。 ・本文の記述をもとに、登場人物の心情を読み取る。	8	○	○	○	・疑問の句法「奈何」が目的語をとる形「秦～何」が理解できたか。 ・追い詰められた原因がどこにあると項羽は考えていたかがわかったか。
6	源氏物語 光源氏誕生	・『源氏物語』の文学史的価値を理解する。 ・登場人物の人物像を考える。	8	○	○	○	・登場人物の人物像を理解できたか。 ・一の皇子と光源氏がどのように描き分けられているかを理解できたか。
7・8	孟子 性善 荀子 性悪	・「性善」を二重否定の句法に注意し理解する。 ・孟子の性善説と比較しながら、荀子の唱える性悪説はどのようなものか考える。	8	○	○	○	・「不忍人之心」を対句表現に注意して理解できたか。 ・「性善」を二重否定の句法に注意し理解できたか。 ・孟子の性善説と比較しながら、荀子の唱える性悪説はどのようなものか理解できたか。 ・本文を接続の語句、対になっている表現などに注意しながら読解し、文
9	大鏡 花山天皇の出家	・花山天皇の心情と、藤原兼家・道兼親子の思惑を理解する。 ・花山天皇の出家が、極秘かつ用意周到に準備されていた理由を理解する。	8	○	○	○	・登場人物を整理し、花山天皇と藤原兼家との関係を理解できたか。 ・この出来事に対する語り手の評価を理解できたか。
10・11	古体詩 長恨歌	・恋愛を主題とした漢文作品を読み味わう。 ・作者の白居易や「長恨歌」が書かれた時代背景について確認する。	16	○	○	○	・詩の形式や対句・押韻について理解できたか。 ・反語や使役の句法を理解できたか。 ・七夕節の牽牛と織姫になぞらえた構成を理解できたか。
12・1	平家物語 堀ノ浦	・都落ち以降、戦がどのように展開して、最後、堀ノ浦に至ったのかを確認する。 ・語り手の戦への視点を考える。	7	○	○	○	・軍記物語、語り物特有の言葉や文法について整理できたか。 ・平家物語に特徴的に使われる言葉や、文法的特徴をまとめられたか。

教科	科目	単位数	開設年次	選択群	作成担当者
国語科	文学国語	3単位	3年次	D2・D3	
教科書	文学国語(数研出版 文国706)				
副教材等					
① 科目の目標(学習指導要領)					
・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけると共に、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 ・深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすと共に、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 ・言葉が持つ価値への認識を深めると共に、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。					

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③学びに向かう力
生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉の持つ価値への認識を深めようとしていると共に、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	各検査等状況の80%以上	各検査等状況の30%以上	各検査等状況の30%未満
②思考力 表現力	各活動内容の80%以上	各活動内容の30%以上	各活動内容の30%未満
③学びに向かう力	提出物状況・授業への参加 80%以上	提出物状況・授業への参加 30%以上	提出物状況・授業への参加 30%未満

年間指導計画および各観点評価の規程

月	単元名	主な学習(指導)内容	実時	評価項目			評価のポイント(規程)
				①	②	③	
4	ナイン	・英夫さんと常雄さんの心情を考察する作業を通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・語り手の視点を踏まえて、英夫さんと常雄さんの心情と、正太郎くんが日陰を作ったエピソードとの関連性を考察する。	9	○	○	○	・「西日」に込められた意味を考察する作業を通して、語彙を豊かにすることができたか。 ・登場人物の心情と行動の関連性について考察できたか。
5	山月記	・人間が虎になるという設定の効果について考察する。 ・作品に哀憐が登場することの効果について考察する。	12	○	○	○	・作品の構成と展開を踏まえ、人間が虎になるという設定がもたらす効果について理解を深めることができたか。 ・孝徴と哀憐の人物像を正確に把握できたか。
6	山椒魚	・山椒魚の考え方や行動に対する自分の考えを整理する。 ・作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対する考えを深める。	9	○	○	○	・山椒魚の考え方や行動を正確に理解できたか。 ・昭和初期の小説に触れることを通して、読書の意義と効用について理解を深めることができたか。
7・8	短歌俳句	・「短歌」の文化的背景を調べることを通して、日本の言語文化の特質について理解を深める。 ・句が持つ味わいを吟味し、作者が表現したいことを鑑賞する。	12	○	○	○	・「短歌」や「俳句」が誕生した文化的背景と、そこで用いられる語句の意味を理解したか。
9	永訣の朝 発車	・作品の成立過程を調べた上で、宮沢賢治の妹への心情や兄弟のつながりについて理解し、「永訣の朝」の解釈を深める。 ・「発車」に描かれる作者の心情を正確に理解する。	9	○	○	○	・「永訣の朝」の成立背景、「松の針」「無声慟哭」との関連が理解できたか。 ・昭和の詩に触れることを通して、自分の意見を持つことができたか。
10	こころ	・「上 先生と私」「中 両親と私」が置かれていることの意味を考えさせる。	15	○	○	○	・場面別に「こころ」の主題を考察する作業を通して、作品内容を解釈することができたか。
11	檸檬	・作品に描かれている心の不可思議さに対して抱いた自分の感情を整理する。	9	○	○	○	・自ら進んで作品内容を解釈し、十分にものの見方、感じ方、考え方を深めているか。
12・1	舞姫	・豊太郎の回想手記の形式が作品にどのような効果を与えているかを考え、文学的文章の種類や特徴について理解を深める。 ・明治20年前後の日本の社会状況を的確に捉え、そうした社会状況が豊太郎に与えた影響を考	15	○	○	○	・明治という時代背景を踏まえて森鷗外の小説を読むことで、作品を解釈しているか。 ・語り手の視点がどこにあるのかを正確に理解しているか。

教科	科目	単位数	開設年次	選択群	作成担当者
国語科	小論文研究	2単位	3年次	E2、4、5	
教科書					
副教材等	小論文頻出テーマ2024現代を知る(第一学習社) チェック＆ワーク(第一学習社) 新聞記事 新書など				

① 科目の目標(学習指導要領)
社会に対する関心を深め、適切かつ効果的に表現する能力を養う。

評価の観点		
①知識 技能	②思考力 表現力	③主体的に学習に取り組む態度
テーマとなっている社会問題に応じて、自分の考えをまとめたり、深めたりすること。 与えられたテーマについて、幅広い情報を基に自分の考えをまとめること。 文章の構成を意識し、主張が効果的に伝わるよう工夫して書くこと。	関心のもった事柄に対して、調べあげた内容を整理して発表すること。 新聞や新書なども活用しながら、客観的な視点を踏まえた小論文を作成すること	相手の立場や、異なる視点を尊重して課題解決をする姿勢を持ち、論拠の妥当性を判断しながら、話し合いを進めること。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	各検査等状況の80%以上	各検査等状況の30%以上	各検査等状況の30%未満
②思考力 表現力	各活動内容の80%以上	各活動内容の30%以上	各活動内容の30%未満
③主体的に学習に取り組む態度	提出物状況・授業への参加 80%以上	提出物状況・授業への参加 30%以上	提出物状況・授業への参加 30%未満

年間指導計画および各観点評価の規準

月	単元名	教材名	主な学習(指導)内容	実時	評価項目			評価のポイント(規準)
					①	②	③	
通年	資料集、準拠問題集を活用し、テーマに沿って社会問題に対する知識を深める。 大学入試の過去問題を活用し小論文を執筆する。	2024現代を知る(第一学習社) 2024チェック＆ワーク 新聞、新書、各大学書論文過去問題	・小論文用語の意味を的確に理解する。 ・テーマごとに現代の社会背景、現状を調べ、知識を深める。 ・問題点について、自分なりに分析し、意見文を書く ・新聞スクラップブックの作成	60	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・チェック＆ワークへの取り組み(知識・技能) ・資料作成(新聞スクラップなど)に対する取り組み。(知識・技能) ・新聞、新書などの知識を活用し、自分なりに社会問題を分析し、小論文を書く取り組み(思考力・表現力)
4	資料集の理解 ・演習問題を解き確認 ・新聞記事等の資料を活用した補足説明 ・意見文を書く	テーマ生活・社会①	・小論文用語の意味を的確に理解する。 ・テーマごとに現代の社会背景、現状を調べ、知識を深める。 ・問題点について、自分なりに分析し、意見文を書く ・新聞スクラップブックの作成する。	8	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・チェック＆ワークへの取り組み(知識・技能) ・資料作成(新聞スクラップなど)に対する取り組み。(知識・技能) ・新聞、新書などの知識を活用し、自分なりに社会問題を分析し、小論文を書く取り組み(思考力・表現力)
5	資料集の理解 ・演習問題を解き確認 ・新聞記事等の資料を活用した補足説明 ・意見文を書く	テーマ生活・社会② 環境①	・小論文用語の意味を的確に理解する。 ・テーマごとに現代の社会背景、現状を調べ、知識を深める。 ・問題点について、自分なりに分析し、意見文を書く ・新聞スクラップブックの作成する。	8	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・チェック＆ワークへの取り組み(知識・技能) ・資料作成(新聞スクラップなど)に対する取り組み。(知識・技能) ・新聞、新書などの知識を活用し、自分なりに社会問題を分析し、小論文を書く取り組み(思考力・表現力)
6	資料集の理解 ・演習問題を解き確認 ・新聞記事等の資料を活用した補足説明 ・意見文を書く	テーマ環境② 医療・看護①	・小論文用語の意味を的確に理解する。 ・テーマごとに現代の社会背景、現状を調べ、知識を深める。 ・問題点について、自分なりに分析し、意見文を書く ・新聞スクラップブックの作成する。	8	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・チェック＆ワークへの取り組み(知識・技能) ・資料作成(新聞スクラップなど)に対する取り組み。(知識・技能) ・新聞、新書などの知識を活用し、自分なりに社会問題を分析し、小論文を書く取り組み(思考力・表現力)
7	資料集の理解 ・演習問題を解き確認 ・新聞記事等の資料を活用した補足説明 ・意見文を書く	テーマ医療・看護② 福祉①	・小論文用語の意味を的確に理解する。 ・テーマごとに現代の社会背景、現状を調べ、知識を深める。 ・問題点について、自分なりに分析し、意見文を書く ・新聞スクラップブックの作成する。	8	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・チェック＆ワークへの取り組み(知識・技能) ・資料作成(新聞スクラップなど)に対する取り組み。(知識・技能) ・新聞、新書などの知識を活用し、自分なりに社会問題を分析し、小論文を書く取り組み(思考力・表現力)
8 9	資料集の理解 ・演習問題を解き確認 ・新聞記事等の資料を活用した補足説明 ・意見文を書く	テーマ福祉② 科学技術①	・小論文用語の意味を的確に理解する。 ・テーマごとに現代の社会背景、現状を調べ、知識を深める。 ・新聞スクラップブックを作成する。 作成したスクラップブックなどを活用して、小論文を執筆する。	8	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・チェック＆ワークへの取り組み(知識・技能) ・資料作成(新聞スクラップなど)に対する取り組み。(知識・技能) ・新聞、新書などの知識を活用し、自分なりに社会問題を分析し、小論文を書く取り組み(思考力・表現力)
10	資料集の理解 ・演習問題を解き確認 ・新聞記事等の資料を活用した補足説明 ・小論文を書く	テーマ科学技術② 情報・メディア①	・小論文用語の意味を的確に理解する。 ・テーマごとに現代の社会背景、現状を調べ、知識を深める。 ・新聞スクラップブックを作成する。 作成したスクラップブックなどを活用して、小論文を執筆する。	6	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・チェック＆ワークへの取り組み(知識・技能) ・資料作成(新聞スクラップなど)に対する取り組み。(知識・技能) ・新聞、新書などの知識を活用し、自分なりに社会問題を分析し、小論文を書く取り組み(思考力・表現力)
11	資料集の理解 ・演習問題を解き確認 ・新聞記事等の資料を活用した補足説明 ・小論文を書く	テーマ情報・メディア② 国際問題・異文化理解①	・小論文用語の意味を的確に理解する。 ・テーマごとに現代の社会背景、現状を調べ、知識を深める。 ・新聞スクラップブックを作成する。 作成したスクラップブックなどを活用して、小論文を執筆する。	6	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・チェック＆ワークへの取り組み(知識・技能) ・資料作成(新聞スクラップなど)に対する取り組み。(知識・技能) ・新聞、新書などの知識を活用し、自分なりに社会問題を分析し、小論文を書く取り組み(思考力・表現力)
12	資料集の理解 ・演習問題を解き確認 ・新聞記事等の資料を活用した補足説明 ・小論文を書く	国際問題・異文化理解②	・小論文用語の意味を的確に理解する。 ・テーマごとに現代の社会背景、現状を調べ、知識を深める。 ・新聞スクラップブックを作成する。 作成したスクラップブックなどを活用して、小論文を執筆する。	6	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・チェック＆ワークへの取り組み(知識・技能) ・資料作成(新聞スクラップなど)に対する取り組み。(知識・技能) ・新聞、新書などの知識を活用し、自分なりに社会問題を分析し、小論文を書く取り組み(思考力・表現力)
1	年間の授業を通しての授業評価・自己評価を実施。	授業評価アンケートの実施	・語彙力がどの程度身についたか。 ・長文の読解力がどの程度身についたか。 ・年間を通じて意欲的に学習できたか。	2	○	○	○	・語彙力がどの程度身についたか。(知識・技能) ・長文の読解力がどの程度身についたか。(思考力・表現力) ・年間を通じて意欲的に学習できたか。(主体的に学習に取り組む態度)

教科	科目	単位数	開設年次	選択群	作成担当者
国語科	応用現代文	2単位	3年次	E3・4	
教科書					
副教材等	ベネッセ重要問題演習 z会ベーシックマスター				
① 科目の目標(学習指導要領)					
大学入試共通テストをはじめとする入学試験の現代文分野(評論・小説)に対応できる力と、試験時間の効率的な使い方を養うことができる。					

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③主体的に学習に取り組む態度
問題文に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解すること。 問題文の内容を構成や展開に即して、限られた時間内で的確にとらえること。 問題文を読んで、人間、社会、自然などに対する思想や感情を的確にとらえること。	問題文の内容や表現の特色を理解して読み味わい、作品の価値について考察すること。 問題文を読んで、我が国の文化の特質や我が国の文化と諸外国の文化の関係について考察すること。 自己評価票を用いて内容についての考えを表現すること。	本文の文脈や漢字の語義から、知らない語句の意味を推測すること。 小テストや課題取り組みなどを行うので、必ず予習しておくこと。 問題演習を自己採点した後、解説やプリントを用いて必ず復習し、理解できるようにすること。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	各検査等状況の80%以上	各検査等状況の30%以上	各検査等状況の30%未満
②思考力 表現力	各活動内容の80%以上	各活動内容の30%以上	各活動内容の30%未満
③主体的に学習に取り組む態度	提出物状況・授業への参加 80%以上	提出物状況・授業への参加 30%以上	提出物状況・授業への参加 30%未満

年間指導計画および各観点評価の規準

月	単元名	教材名	主な学習(指導)内容	実時	評価項目			評価のポイント(規準)
					①	②	③	
通年	2冊のテキストから20分で1題の演習問題を解き、採点、復習。	ベネッセ重要問題演習 2会ベーシックマスター	・語句の意味、用法を的確に理解する。 ・作品の内容を理解できる読解力を身につける。 ・出題課題の内容を的確に理解し解答できる能力を身につける。	60	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・設問に対して的確な解答を作成できている。(知識・技能) ・語句の小テストに対する取り組み。(知識・技能) ・内容を理解し、自身がどのように考えたか自己評価票で表現できる。(思考力・表現力)
4	テキスト1…20分で1題の演習問題を解き、採点、復習。	「日本人にとって美しいとは何か」 「越前海岸」 「再生可能エネルギー」 「優しい音楽」 「フォトリテラシー」 「菜瓜を語るにも」	・語句の意味、用法を的確に理解する。 ・作品の内容を理解できる読解力を身につける。 ・出題課題の内容を的確に理解し解答できる能力を身につける。	7	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・設問に対して的確な解答を作成できている。(知識・技能) ・語句の小テストに対する取り組み。(知識・技能) ・内容を理解し、自身がどのように考えたか自己評価票で表現できる。(思考力・表現力)
5	テキスト1…20分で1題の演習問題を解き、採点、復習。	「社会は絶えず夢を見ている」 「反科学論」 「ある一行」	・語句の意味、用法を的確に理解する。 ・作品の内容を理解できる読解力を身につける。 ・出題課題の内容を的確に理解し解答できる能力を身につける。	7	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・設問に対して的確な解答を作成できている。(知識・技能) ・語句の小テストに対する取り組み。(知識・技能) ・内容を理解し、自身がどのように考えたか自己評価票で表現できる。(思考力・表現力)
6	テキスト1…20分で1題の演習問題を解き、採点、復習。	「情報とウェルビーイング」 「表式に行かぬ訳」 「都市計画における風景」 「モードの多様性」	・語句の意味、用法を的確に理解する。 ・作品の内容を理解できる読解力を身につける。 ・出題課題の内容を的確に理解し解答できる能力を身につける。	7	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・設問に対して的確な解答を作成できている。(知識・技能) ・語句の小テストに対する取り組み。(知識・技能) ・内容を理解し、自身がどのように考えたか自己評価票で表現できる。(思考力・表現力)
7	テキスト1…20分で1題の演習問題を解き、採点、復習。	「暴力と富と資本主義」 「戦国朝」 「戦物と負債」 「金閣寺」 「デジタルメディア環境」	・語句の意味、用法を的確に理解する。 ・作品の内容を理解できる読解力を身につける。 ・出題課題の内容を的確に理解し解答できる能力を身につける。	7	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・設問に対して的確な解答を作成できている。(知識・技能) ・語句の小テストに対する取り組み。(知識・技能) ・内容を理解し、自身がどのように考えたか自己評価票で表現できる。(思考力・表現力)
8 9	テキスト2…20分で1題の演習問題を解き、採点、復習。	「詩と国家」 「無名」 「音楽家の聴き方」 「夜のピクニック」 「都市の政治学」 「団旗はためく下」	・語句の意味、用法を的確に理解する。 ・作品の内容を理解できる読解力を身につける。 ・出題課題の内容を的確に理解し解答できる能力を身につける。	7	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・設問に対して的確な解答を作成できている。(知識・技能) ・語句の小テストに対する取り組み。(知識・技能) ・内容を理解し、自身がどのように考えたか自己評価票で表現できる。(思考力・表現力)
10	テキスト2…20分で1題の演習問題を解き、採点、復習。	「本は変容するか」 「クラスメイト」 「未来都市は今」 「黄泉から」	・語句の意味、用法を的確に理解する。 ・作品の内容を読解しノートにまとめる。 ・本文の内容を的確に要約する。	7	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・設問に対して的確な解答を作成できている。(知識・技能) ・語句の小テストに対する取り組み。(知識・技能) ・内容を理解し、自身がどのように考えたか自己評価票で表現できる。(思考力・表現力)
11	テキスト2…20分で1題の演習問題を解き、採点、復習。	「山の霊力」 「最初の秋」 「責任って何」 「穴の宮の姫君」 「空き家が働く日本」 「穴の宮の姫君」	・語句の意味、用法を的確に理解する。 ・作品の内容を理解できる読解力を身につける。 ・出題課題の内容を的確に理解し解答できる能力を身につける。	8	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・設問に対して的確な解答を作成できている。(知識・技能) ・語句の小テストに対する取り組み。(知識・技能) ・内容を理解し、自身がどのように考えたか自己評価票で表現できる。(思考力・表現力)
12	テキスト2…20分で1題の演習問題を解き、採点、復習。	「日本語をどう書くか」 「鑑」 「現代科学論の名著」 「死後の思想」 ※言語活動分野問題	・語句の意味、用法を的確に理解する。 ・作品の内容を理解できる読解力を身につける。 ・出題課題の内容を的確に理解し解答できる能力を身につける。	7	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・設問に対して的確な解答を作成できている。(知識・技能) ・語句の小テストに対する取り組み。(知識・技能) ・内容を理解し、自身がどのように考えたか自己評価票で表現できる。(思考力・表現力)
1	年間の授業を通しての授業評価・自己評価を実施。	授業評価アンケートの実施	・語彙力がどの程度身についたか。 ・長文の読解力がどの程度身についたか。 ・年間を通じて意欲的に学習できたか。	3	○	○	○	・語彙力がどの程度身についたか。(知識・技能) ・長文の読解力がどの程度身についたか。(思考力・表現力) ・年間を通じて意欲的に学習できたか。(主体的に学習に取り組む態度)

教科 国語科	科目 応用古典	単位数 2単位	開設年次 3年次	選択群 E	作成担当者
教科書					
副教材等					
「共通テスト分野別ベーシックマスター国語 古文・漢文」(Z会)・「重要問題演習2025共通テスト古典」(ベネッセ)					
① 科目の目標(学習指導要領)					
大学入試共通テストをはじめとする入学試験の古典分野(古文・漢文)に対応できる力と、試験時間の効率的な使い方を養うことができる。					

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③主体的に学習に取り組む態度
問題文に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解すること。 問題文の内容を構成や展開に即して、限られた時間内で的確にとらえること。 問題文を読んで、人間、社会、自然などに対する思想や感情を的確にとらえること。	問題文の内容や表現の特色を理解して読み味わい、作品の価値について考察すること。 問題文を読んで、我が国の文化の特質や我が国の文化と中国の文化の関係について考察すること。 自己評価票を用いて内容についての考えを表現すること。	本文の文脈や漢字の語義から、知らない語句の意味を推測すること。 小テストや課題取り組みなどを行うので、必ず予習しておくこと。 問題演習を自己採点した後、解説やプリントを用いて必ず復習し、理解できるようにすること。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	各検査等状況の80%以上	各検査等状況の30%以上	各検査等状況の30%未満
②思考力 表現力	各活動内容の80%以上	各活動内容の30%以上	各活動内容の30%未満
③主体的に学習に取り組む態度	提出物状況・授業への参加 80%以上	提出物状況・授業への参加 30%以上	提出物状況・授業への参加 30%未満

年間指導計画および各観点評価の規準

月	単元名	教材名	主な学習(指導)内容	実時	評価項目			評価のポイント(規準)
					①	②	③	
通年	2冊のテキストから20分で1題の演習問題を解き、採点、復習。	2会ベーシックマスター 「 」 ベネッセ重要問題演習	・語句の意味、用法を的確に理解する。 ・作品の内容を理解できる読解力を身につける。 ・出題課題の内容を的確に理解し解答できる能力を身につける。	60	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・設問に対して的確な解答を作成できている。(知識・技能) ・語句の小テストに対する取り組み。(知識・技能) ・内容を理解し、自身がどのように考えたか自己評価票で表現できる。(思考力・表現力)
4	テキスト1…20分で1題の演習問題を解き、採点、復習。	「さいき」 「撰神後記」 「つづらふみ」 「列女伝」 「増鏡」 「宋清伝」	・語句の意味、用法を的確に理解する。 ・作品の内容を理解できる読解力を身につける。 ・出題課題の内容を的確に理解し解答できる能力を身につける。	9	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・設問に対して的確な解答を作成できている。(知識・技能) ・語句の小テストに対する取り組み。(知識・技能) ・内容を理解し、自身がどのように考えたか自己評価票で表現できる。(思考力・表現力)
5	テキスト1…20分で1題の演習問題を解き、採点、復習。	「風に紅葉」 「文海披沙」 「小敷盛絵巻」 「管子」 「木桶の時雨」 「老学庵筆記」	・語句の意味、用法を的確に理解する。 ・作品の内容を理解できる読解力を身につける。 ・出題課題の内容を的確に理解し解答できる能力を身につける。	7	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・設問に対して的確な解答を作成できている。(知識・技能) ・語句の小テストに対する取り組み。(知識・技能) ・内容を理解し、自身がどのように考えたか自己評価票で表現できる。(思考力・表現力)
6	テキスト1…20分で1題の演習問題を解き、採点、復習。	「紫文要領・源氏物語」 「列子・論衡」 「平家物語・源氏物語」 「莊子・白氏文集」	・語句の意味、用法を的確に理解する。 ・作品の内容を理解できる読解力を身につける。 ・出題課題の内容を的確に理解し解答できる能力を身につける。	7	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・設問に対して的確な解答を作成できている。(知識・技能) ・語句の小テストに対する取り組み。(知識・技能) ・内容を理解し、自身がどのように考えたか自己評価票で表現できる。(思考力・表現力)
7	テキスト1…20分で1題の演習問題を解き、採点、復習。	「朝鮮人・阿川語」 「本朝虞初新詠・譚海」 「伊勢物語」 「臨川先生文集・論語」	・語句の意味、用法を的確に理解する。 ・作品の内容を理解できる読解力を身につける。 ・出題課題の内容を的確に理解し解答できる能力を身につける。	7	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・設問に対して的確な解答を作成できている。(知識・技能) ・語句の小テストに対する取り組み。(知識・技能) ・内容を理解し、自身がどのように考えたか自己評価票で表現できる。(思考力・表現力)
8 9	テキスト2…20分で1題の演習問題を解き、採点、復習。	「銀葉物語」 「容斎隨筆」 「なよ竹物語絵巻」 「道志斎集」	・語句の意味、用法を的確に理解する。 ・作品の内容を理解できる読解力を身につける。 ・出題課題の内容を的確に理解し解答できる能力を身につける。	7	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・設問に対して的確な解答を作成できている。(知識・技能) ・語句の小テストに対する取り組み。(知識・技能) ・内容を理解し、自身がどのように考えたか自己評価票で表現できる。(思考力・表現力)
10	テキスト2…20分で1題の演習問題を解き、採点、復習。	「十訓抄」 「群書類」 「群書類」 「貞観政要」	・語句の意味、用法を的確に理解する。 ・作品の内容を読解しノートにまとめる。 ・本文の内容を的確に要約する。	7	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・設問に対して的確な解答を作成できている。(知識・技能) ・語句の小テストに対する取り組み。(知識・技能) ・内容を理解し、自身がどのように考えたか自己評価票で表現できる。(思考力・表現力)
11	テキスト2…20分で1題の演習問題を解き、採点、復習。	「伊勢物語」 「群書類」 「群書類」 「群書類」 「石清水物語」 「唐語林」	・語句の意味、用法を的確に理解する。 ・作品の内容を理解できる読解力を身につける。 ・出題課題の内容を的確に理解し解答できる能力を身につける。	7	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・設問に対して的確な解答を作成できている。(知識・技能) ・語句の小テストに対する取り組み。(知識・技能) ・内容を理解し、自身がどのように考えたか自己評価票で表現できる。(思考力・表現力)
12	テキスト2…20分で1題の演習問題を解き、採点、復習。	「太平記」 「源氏物語」 「群書類」 「群書類」 「群書類」 「群書類」	・語句の意味、用法を的確に理解する。 ・作品の内容を理解できる読解力を身につける。 ・出題課題の内容を的確に理解し解答できる能力を身につける。	7	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・設問に対して的確な解答を作成できている。(知識・技能) ・語句の小テストに対する取り組み。(知識・技能) ・内容を理解し、自身がどのように考えたか自己評価票で表現できる。(思考力・表現力)
1	年間の授業を通しての授業評価・自己評価を実施。	授業評価アンケートの実施	・語彙力がどの程度身についたか。 ・長文の読解力がどの程度身についたか。 ・年間を通じて意欲的に学習できたか。	2	○	○	○	・語彙力がどの程度身についたか。(知識・技能) ・長文の読解力がどの程度身についたか。(思考力・表現力) ・年間を通じて意欲的に学習できたか。(主体的に学習に取り組む態度)

教科	科目	単位数	開設年次	選択群	作成担当者：黒坂博史
国語科	教養国語	2単位	2・3年次	C	
教科書					
副教材等	漢字ボックス(浜島書店) パスポート国語必修(桐原書店)				
① 科目の目標(学習指導要領)					
・漢字や語彙の学習を通し、これらを取得していく習慣を形成するとともに、日本語の特徴に関心を持ち、解釈や表現に生かそうとする意識を育てる。 ・異年次交流であるため、グループワークを通して発表学習を行う。その際に論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら実施する。					

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③主体的に学習に取り組む態度
漢字の語句の意味、用法を理解すること。 日本語のことわざや慣用語の意味を理解すること。 日本の文学史についての知識を深めること。	一般教養問題についての理解を深め自ら活用する力や表現力を身につけること。 我が国の文化と諸外国の文化の関係について考察すること。 「運命の漢字」を調べ発表し表現力を身につけること。	漢字の語義から、知らない語句の意味を推測すること。 小テストや課題取り組みなどを行うので、必ず予習しておくこと。 「運命の漢字」を選び主体的に調べること。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	各検査等状況の80%以上	各検査等状況の30%以上	各検査等状況の30%未満
②思考力 表現力	各活動内容の80%以上	各活動内容の30%以上	各活動内容の30%未満
③主体的に学習に取り組む態度	提出物状況・授業への参加 80%以上	提出物状況・授業への参加 30%以上	提出物状況・授業への参加 30%未満

年間指導計画および各観点評価の規準

月	単元名	教材名	主な学習(指導)内容	実時	評価項目			評価のポイント(規準)
					①	②	③	
通年	2冊のテキストを用いて漢字検定5級～2級レベルの知識と国語の教養問題について学習する。 「運命の漢字」発表。	漢字ボックス(浜島書店) パスポート国語必修(桐原書店)	・漢字の読み書きに関する学習。 ・小テストに向けての主体的な学習。 ・一般教養に関わる知識を学び日本語や言葉に関する興味関心を育成する。 ・漢字の語源や意味などを調べ発表する。	70 (3年次は60)	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・一般教養問題に対して知識を深めている。(知識・技能) ・漢字の小テストに対する取り組み。(知識・技能) ・「運命の漢字」2文字を選び主体的に調べて全体へ発表表現する。(思考力・表現力)
4	2冊のテキストを用いて漢字検定5級～2級レベルの知識と国語の教養問題について学習する。 「運命の漢字」発表。	漢字検定5級レベル問題 文章の整え方 敬語法 「運命の漢字」	・漢字の読み書きに関する学習。 ・小テストに向けての主体的な学習。 ・一般教養に関わる知識を学び日本語や言葉に関する興味関心を育成する。 ・漢字の語源や意味などを調べ発表する。	7	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・一般教養問題に対して知識を深めている。(知識・技能) ・漢字の小テストに対する取り組み。(知識・技能) ・「運命の漢字」3文字を選び主体的に調べて全体へ発表表現する。(思考力・表現力)
5	2冊のテキストを用いて漢字検定5級～2級レベルの知識と国語の教養問題について学習する。 「運命の漢字」発表。	漢字検定4級レベル問題 近現代文学史・ことわざ問題 「運命の漢字」	・漢字の読み書きに関する学習。 ・小テストに向けての主体的な学習。 ・一般教養に関わる知識を学び日本語や言葉に関する興味関心を育成する。 ・漢字の語源や意味などを調べ発表する。	7	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・一般教養問題に対して知識を深めている。(知識・技能) ・漢字の小テストに対する取り組み。(知識・技能) ・「運命の漢字」4文字を選び主体的に調べて全体へ発表表現する。(思考力・表現力)
6	2冊のテキストを用いて漢字検定5級～2級レベルの知識と国語の教養問題について学習する。 「運命の漢字」発表。	漢字検定3級レベル問題 近現代文学史・ことわざ問題 「運命の漢字」	・漢字の読み書きに関する学習。 ・小テストに向けての主体的な学習。 ・一般教養に関わる知識を学び日本語や言葉に関する興味関心を育成する。 ・漢字の語源や意味などを調べ発表する。	8	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・一般教養問題に対して知識を深めている。(知識・技能) ・漢字の小テストに対する取り組み。(知識・技能) ・「運命の漢字」5文字を選び主体的に調べて全体へ発表表現する。(思考力・表現力)
7	2冊のテキストを用いて漢字検定5級～2級レベルの知識と国語の教養問題について学習する。 「運命の漢字」発表。	漢字検定3級レベル問題 近現代文学史・ことわざ問題 「運命の漢字」	・漢字の読み書きに関する学習。 ・小テストに向けての主体的な学習。 ・一般教養に関わる知識を学び日本語や言葉に関する興味関心を育成する。 ・漢字の語源や意味などを調べ発表する。	6	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・一般教養問題に対して知識を深めている。(知識・技能) ・漢字の小テストに対する取り組み。(知識・技能) ・「運命の漢字」6文字を選び主体的に調べて全体へ発表表現する。(思考力・表現力)
8 9	2冊のテキストを用いて漢字検定5級～2級レベルの知識と国語の教養問題について学習する。 「運命の漢字」発表。	漢字検定準2級レベル問題 古典文学史・故事成語問題 「運命の漢字」	・漢字の読み書きに関する学習。 ・小テストに向けての主体的な学習。 ・一般教養に関わる知識を学び日本語や言葉に関する興味関心を育成する。 ・漢字の語源や意味などを調べ発表する。	8	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・一般教養問題に対して知識を深めている。(知識・技能) ・漢字の小テストに対する取り組み。(知識・技能) ・「運命の漢字」7文字を選び主体的に調べて全体へ発表表現する。(思考力・表現力)
10	2冊のテキストを用いて漢字検定5級～2級レベルの知識と国語の教養問題について学習する。 「運命の漢字」発表。	漢字検定準2級レベル問題 古典文学史・故事成語問題 「運命の漢字」	・漢字の読み書きに関する学習。 ・小テストに向けての主体的な学習。 ・一般教養に関わる知識を学び日本語や言葉に関する興味関心を育成する。 ・漢字の語源や意味などを調べ発表する。	8	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・一般教養問題に対して知識を深めている。(知識・技能) ・漢字の小テストに対する取り組み。(知識・技能) ・「運命の漢字」8文字を選び主体的に調べて全体へ発表表現する。(思考力・表現力)
11	2冊のテキストを用いて漢字検定5級～2級レベルの知識と国語の教養問題について学習する。 「運命の漢字」発表。	漢字検定2級レベル問題 古典文学史・故事成語問題 「運命の漢字」	・漢字の読み書きに関する学習。 ・小テストに向けての主体的な学習。 ・一般教養に関わる知識を学び日本語や言葉に関する興味関心を育成する。 ・漢字の語源や意味などを調べ発表する。	7	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・一般教養問題に対して知識を深めている。(知識・技能) ・漢字の小テストに対する取り組み。(知識・技能) ・「運命の漢字」9文字を選び主体的に調べて全体へ発表表現する。(思考力・表現力)
12	2冊のテキストを用いて漢字検定5級～2級レベルの知識と国語の教養問題について学習する。 「運命の漢字」発表。	漢字検定2級レベル問題 ことわざ・慣用語表現 「運命の漢字」	・漢字の読み書きに関する学習。 ・小テストに向けての主体的な学習。 ・一般教養に関わる知識を学び日本語や言葉に関する興味関心を育成する。 ・漢字の語源や意味などを調べ発表する。	6	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・一般教養問題に対して知識を深めている。(知識・技能) ・漢字の小テストに対する取り組み。(知識・技能) ・「運命の漢字」10文字を選び主体的に調べて全体へ発表表現する。(思考力・表現力)
1	年間の授業を通しての授業評価・自己評価を実施。 ここまでが3年次	授業評価アンケートの実施	・語彙力がどの程度身についたか。 ・国語の一般教養がどの程度身についたか。 ・年間を通じて意欲的に学習できたか。	3	○	○	○	・語彙力がどの程度身についたか。(知識・技能) ・国語の一般教養がどの程度身についたか。(思考力・表現力) ・年間を通じて意欲的に学習できたか。(主体的に学習に取り組む態度)
2 . 3	ここから2年次のみ自作のプリントを使用し志望理由書の書き方と小論文の書き方についての基礎的知識を身につける	授業評価アンケートの実施	・年間を通して行った語彙力や教養を用い各課題に取り組んだか。 ・志望理由が明確になっているか。 ・小論文の書き方が的確に理解されているか。	10	○	○	○	・語彙力と教養がどの程度身についたか。(知識・技能) ・各課題に対して自分の考えを深めながら取り組んだか。(思考力・表現力) ・年間を通じて意欲的に学習できたか。(主体的に学習に取り組む態度)

教科	科目	単位数	開設年次	選択群	作成担当者：黒坂博史
国語科	教養国語	2単位	3年次	E	
教科書					
副教材等	漢字ボックス（浜島書店） パスポート国語必修（桐原書店）				
① 科目の目標（学習指導要領）					
漢字や語彙の学習を通し、これらを取得していく習慣を形成するとともに、日本語の特徴に関心を持ち、解釈や表現に生かそうとする意識を育てる。					

評価の観点

①知識 技能	②思考力 表現力	③主体的に学習に取り組む態度
漢字の語句の意味、用法を理解すること。 日本語のことわざや慣用語の意味を理解すること。 日本の文学史についての知識を深めること。	一般教養問題についての理解を深め自ら活用する力や表現力を身につけること。 我が国の文化と諸外国の文化の関係について考察すること。 「運命の漢字」を調べ発表し表現力を身につけること。	漢字の語義から、知らない語句の意味を推測すること。 小テストや課題取り組みなどを行うので、必ず予習しておくこと。 「運命の漢字」を選び主体的に調べること。

上記の観点を以下の基準で評価します。

	評価Aとなること	評価Bとなること	評価Cとなること
①知識 技能	各検査等状況の80%以上	各検査等状況の30%以上	各検査等状況の30%未満
②思考力 表現力	各活動内容の80%以上	各活動内容の30%以上	各活動内容の30%未満
③主体的に学習に取り組む態度	提出物状況・授業への参加 80%以上	提出物状況・授業への参加 30%以上	提出物状況・授業への参加 30%未満

年間指導計画および各観点評価の規準

月	単元名	教材名	主な学習(指導)内容	実時	評価項目			評価のポイント(規準)
					①	②	③	
通年	2冊のテキストを用いて漢字検定5級～2級レベルの知識と国語の教養問題について学習する。 「運命の漢字」発表。	漢字ボックス(浜島書店) パスポート国語必修(桐原書店)	・漢字の読み書きに関する学習。 ・小テストに向けての主体的な学習。 ・一般教養に関わる知識を学び日本語や言葉に関する興味関心を育成する。 ・漢字の語源や意味などを調べ発表する。	60	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・一般教養問題に対して知識を深めている。(知識・技能) ・漢字の小テストに対する取り組み。(知識・技能) ・「運命の漢字」2文字を選び主体的に調べて全体へ発表表現する。(思考力・表現力)
4	2冊のテキストを用いて漢字検定5級～2級レベルの知識と国語の教養問題について学習する。 「運命の漢字」発表。	漢字検定5級レベル問題 文章の整え方 敬語法 「運命の漢字」	・漢字の読み書きに関する学習。 ・小テストに向けての主体的な学習。 ・一般教養に関わる知識を学び日本語や言葉に関する興味関心を育成する。 ・漢字の語源や意味などを調べ発表する。	7	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・一般教養問題に対して知識を深めている。(知識・技能) ・漢字の小テストに対する取り組み。(知識・技能) ・「運命の漢字」3文字を選び主体的に調べて全体へ発表表現する。(思考力・表現力)
5	2冊のテキストを用いて漢字検定5級～2級レベルの知識と国語の教養問題について学習する。 「運命の漢字」発表。	漢字検定4級レベル問題 近現代文学史・ことわざ問題 「運命の漢字」	・漢字の読み書きに関する学習。 ・小テストに向けての主体的な学習。 ・一般教養に関わる知識を学び日本語や言葉に関する興味関心を育成する。 ・漢字の語源や意味などを調べ発表する。	7	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・一般教養問題に対して知識を深めている。(知識・技能) ・漢字の小テストに対する取り組み。(知識・技能) ・「運命の漢字」4文字を選び主体的に調べて全体へ発表表現する。(思考力・表現力)
6	2冊のテキストを用いて漢字検定5級～2級レベルの知識と国語の教養問題について学習する。 「運命の漢字」発表。	漢字検定3級レベル問題 近現代文学史・ことわざ問題 「運命の漢字」	・漢字の読み書きに関する学習。 ・小テストに向けての主体的な学習。 ・一般教養に関わる知識を学び日本語や言葉に関する興味関心を育成する。 ・漢字の語源や意味などを調べ発表する。	8	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・一般教養問題に対して知識を深めている。(知識・技能) ・漢字の小テストに対する取り組み。(知識・技能) ・「運命の漢字」5文字を選び主体的に調べて全体へ発表表現する。(思考力・表現力)
7	2冊のテキストを用いて漢字検定5級～2級レベルの知識と国語の教養問題について学習する。 「運命の漢字」発表。	漢字検定3級レベル問題 近現代文学史・ことわざ問題 「運命の漢字」	・漢字の読み書きに関する学習。 ・小テストに向けての主体的な学習。 ・一般教養に関わる知識を学び日本語や言葉に関する興味関心を育成する。 ・漢字の語源や意味などを調べ発表する。	6	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・一般教養問題に対して知識を深めている。(知識・技能) ・漢字の小テストに対する取り組み。(知識・技能) ・「運命の漢字」6文字を選び主体的に調べて全体へ発表表現する。(思考力・表現力)
8 9	2冊のテキストを用いて漢字検定5級～2級レベルの知識と国語の教養問題について学習する。 「運命の漢字」発表。	漢字検定準2級レベル問題 古典文学史・故事成語問題 「運命の漢字」	・漢字の読み書きに関する学習。 ・小テストに向けての主体的な学習。 ・一般教養に関わる知識を学び日本語や言葉に関する興味関心を育成する。 ・漢字の語源や意味などを調べ発表する。	8	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・一般教養問題に対して知識を深めている。(知識・技能) ・漢字の小テストに対する取り組み。(知識・技能) ・「運命の漢字」7文字を選び主体的に調べて全体へ発表表現する。(思考力・表現力)
10	2冊のテキストを用いて漢字検定5級～2級レベルの知識と国語の教養問題について学習する。 「運命の漢字」発表。	漢字検定準2級レベル問題 古典文学史・故事成語問題 「運命の漢字」	・漢字の読み書きに関する学習。 ・小テストに向けての主体的な学習。 ・一般教養に関わる知識を学び日本語や言葉に関する興味関心を育成する。 ・漢字の語源や意味などを調べ発表する。	8	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・一般教養問題に対して知識を深めている。(知識・技能) ・漢字の小テストに対する取り組み。(知識・技能) ・「運命の漢字」8文字を選び主体的に調べて全体へ発表表現する。(思考力・表現力)
11	2冊のテキストを用いて漢字検定5級～2級レベルの知識と国語の教養問題について学習する。 「運命の漢字」発表。	漢字検定2級レベル問題 古典文学史・故事成語問題 「運命の漢字」	・漢字の読み書きに関する学習。 ・小テストに向けての主体的な学習。 ・一般教養に関わる知識を学び日本語や言葉に関する興味関心を育成する。 ・漢字の語源や意味などを調べ発表する。	7	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・一般教養問題に対して知識を深めている。(知識・技能) ・漢字の小テストに対する取り組み。(知識・技能) ・「運命の漢字」9文字を選び主体的に調べて全体へ発表表現する。(思考力・表現力)
12	2冊のテキストを用いて漢字検定5級～2級レベルの知識と国語の教養問題について学習する。 「運命の漢字」発表。	漢字検定2級レベル問題 ことわざ・慣用語表現 「運命の漢字」	・漢字の読み書きに関する学習。 ・小テストに向けての主体的な学習。 ・一般教養に関わる知識を学び日本語や言葉に関する興味関心を育成する。 ・漢字の語源や意味などを調べ発表する。	6	○	○	○	・学習内容を理解し、粘り強く取り組み、課題に沿って活動している。(主体的に学習に取り組む態度) ・一般教養問題に対して知識を深めている。(知識・技能) ・漢字の小テストに対する取り組み。(知識・技能) ・「運命の漢字」10文字を選び主体的に調べて全体へ発表表現する。(思考力・表現力)
1	年間の授業を通しての授業評価・自己評価を実施。	授業評価アンケートの実施	・語彙力がどの程度身についたか。 ・国語の一般教養がどの程度身についたか。 ・年間を通じて意欲的に学習できたか。	3	○	○	○	・語彙力がどの程度身についたか。(知識・技能) ・国語の一般教養がどの程度身についたか。(思考力・表現力) ・年間を通じて意欲的に学習できたか。(主体的に学習に取り組む態度)